

伊勢・三河湾貧酸素情報（R5-6号）

令和5年7月20日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和5年7月18日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

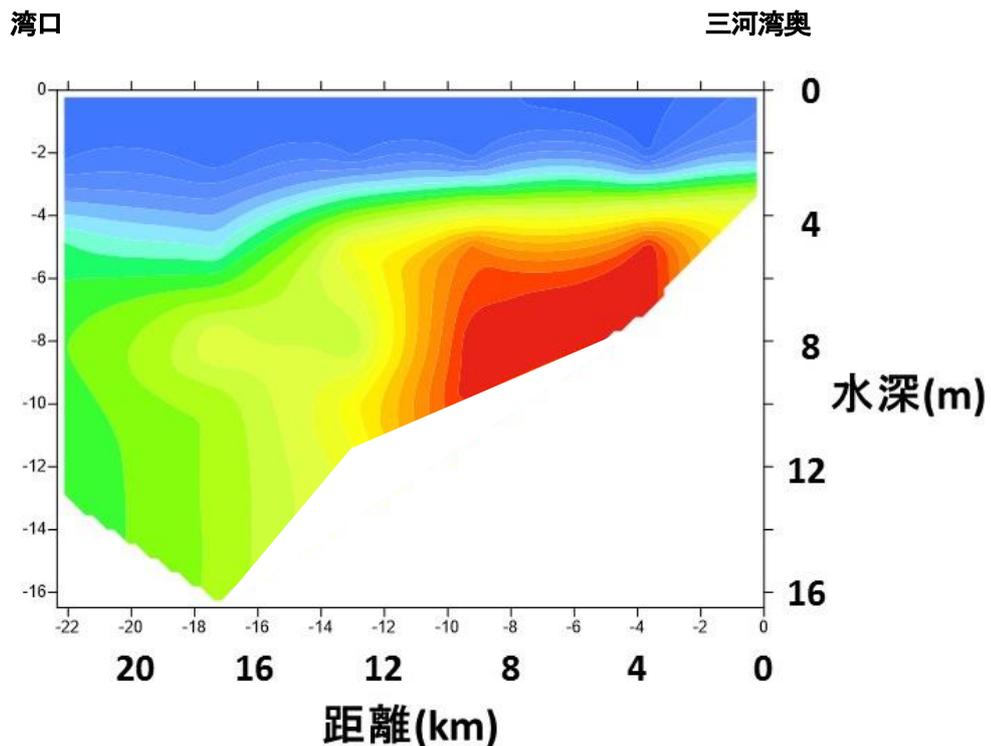
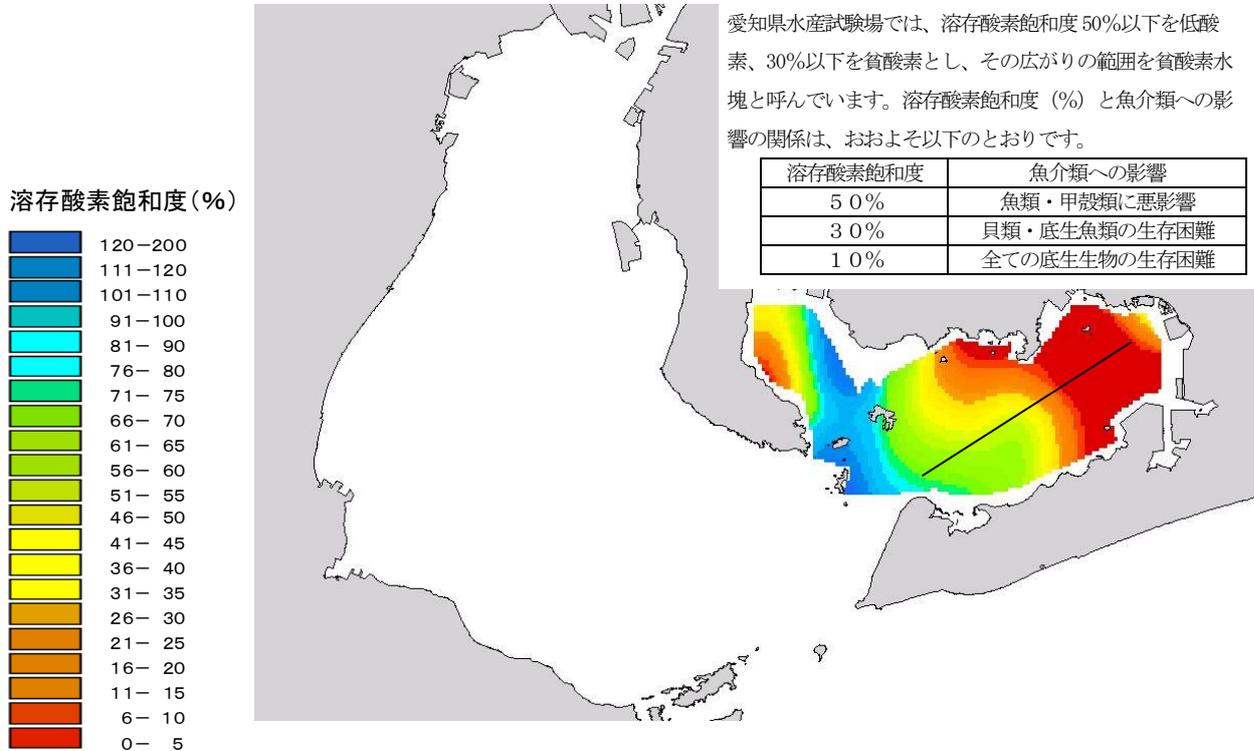


図1 三河湾（7月18日）底層の溶存酸素飽和度の分布（上図）及び上図直線部分の鉛直分布（下図）
（愛知県「へいわ」調査）

三河湾

7月18日の調査結果を図1に示しました。渥美湾の湾奥部と知多湾の西部で貧酸素水塊が確認されました。前回調査時と比べ、渥美湾では南部に見られた貧酸素水塊が解消しました。貧酸素水塊が解消した海域では底層塩分が高くなっていることから、外海水が底層に侵入し、貧酸素水塊が縮小したと考えられます。密度躍層が発達しており、今後も真夏日が続く予報のため、貧酸素水塊が拡大すると考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	28.5~30.5	24.2~28.6
底層	20.0~27.9	28.9~33.3

参考

前回調査時の両湾底層の溶存酸素状況

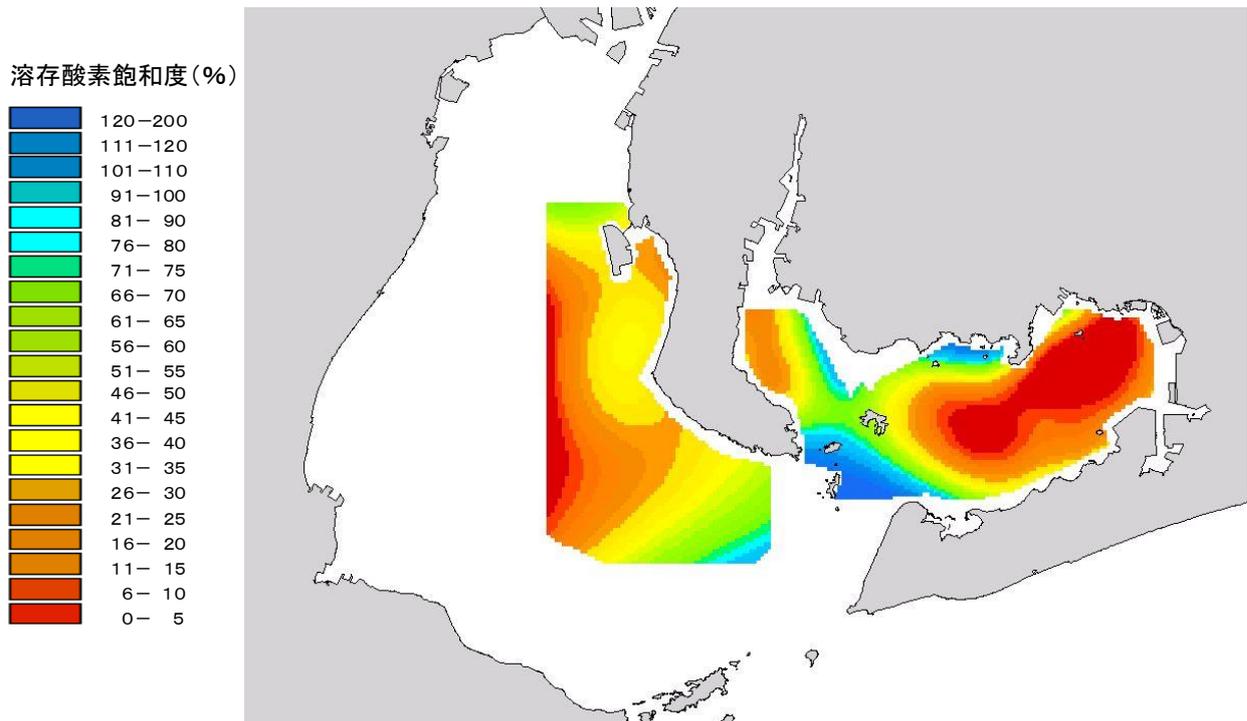


図3 令和5年7月3日 (伊勢湾)、7月4、5日 (三河湾)